

指定管理者による公の施設の管理状況評価（令和2年度分）

施設	名称	栃木市大平健康福祉センター ゆうゆうプラザ
	所在地	栃木市大平町西野田666番地 1
	施設内容	健康部門（入浴施設）、福祉部門、保健衛生・健康増進部門（トレーニングルーム等）、共用部門（会議室など）の複合施設
指定管理者	名称	いすゞビルメンテナンス株式会社
	所在地	東京都大田区南大井
	主な業務内容	総合ビルメンテナンス業 （建物、設備の管理、清掃、警備保安管理、受付等に関する業務）

(1) 平等利用の確保とサービス向上の取組み

評価要素	①	施設の設置目的や特性に基づいた施設運営の基本方針が明文化され、職員が適切に理解しているか					
	②	施設予約や利用方法等について、市民の誰もが利用しやすい利便性と平等性確保の配慮がなされているか					
	③	アンケート調査等により、利用者等の意見を把握し、運営に反映させる取組みを行っているか					
	④	利用者等からの苦情や意見などに対し、適切な取組みを行っているか					
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値		
	市内外各地域の平等利用促進 チラシ配布			延べ24か所配布	0		
	施設利用年代のための催し開催			12回開催	0		
	アンケート用紙及びご意見箱設置			3か所	2か所		
	貸本スペース設置個所数			1か所設置	1か所		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	25	Ⅱ	0.8	20	Ⅱ	0.8	20
指定管理者コメント	<p>・チラシ配布による平等利用の促進 → 新型コロナウイルス感染拡大等により毎月状況が変化し、結果として当初計画とは大きく異なるものとなりました。そのため、チラシによる情報提供は利用者様への混乱をもたらす恐れが高いことから、発行休止を判断いたしました。</p> <p>・催しの開催 → 新型コロナウイルスの館内でのクラスター発生を警戒し、2020年度は催しの開催を見送らせて頂きました。</p> <p>・アンケート用紙及びご意見箱の設置 → アンケート用紙、ご意見箱の設置について不特定多数の方が触れるため、設置個所を1か所削減し、感染の経路拡大に備えました。また早期の制限緩和と要望のご意見がございましたが、安心安全の運営を重視し、今しばらくお待ちいただいております。</p> <p>・貸本スペースの設置箇所 → 貸本スペースは継続設置しておりますが、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策として、一時使用を見合わせております。</p> <p>・事務室へ基本方針を掲示し、職員への適切に理解するよう対応しているほか、平等利用への配慮を実施しております。利用者からの苦情やご意見は事実確認を重視し、慎重に対応を行っております。</p>						
施設所管課コメント	<p>・様々な利用者の方がおり、すべての人の満足度を上げることは難しいことだが、市民に寄り添ったサービスの提供をお願いしたい。</p>						

(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み							
評価要素	①	施設の設置目的に基づいた事業計画通りに管理運営をしているか					
	②	広報活動等（広報紙、ケーブルTV、ホームページ、SNS等）による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	③	開館時間の延長及び新規事業等による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	④	地域住民や関係団体等との連携や協働による事業等、利用者や地域住民の満足度を高める取組みを行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値	実績値			
	施設チラシの発行		9回	0回			
	ブログ広報		42回更新	42回更新			
	トレーニング自主事業の開催		再開検討	再開検討（実施無）			
	イベントの実施回数		5回実施	0回			
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	Ⅱ	0.8	16	Ⅲ	0.6	12
指定管理者コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシ配布による平等利用の促進 → 新型コロナウイルス感染拡大等により毎月状況が変化し、結果として当初計画とは大きく異なるものとなりました。そのため、チラシによる情報提供は利用者様への混乱をもたらす恐れが高いことから、発行休止を判断いたしました。 ・ブログ広報 → 1年を通じ、インターネットからの情報発信を行い、コロナ禍での変則的な運営下で、施設の運営情報を中心に即時発信を行いました。 ・トレーニング自主事業の開催 → 9月から10月にかけて新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着きを見せたことから、11月に自主事業の再開について検討を実施致しましたが、11月に入り、感染拡大が再び増加傾向となったことから開催を見送りと致しました。 ・イベントの実施 → 高齢者の利用率が高いことから、館内でのクラスターの発生を防止するために、2020年度のイベントは休止と致しました。 <p>そのほか、地域地元自治体の活動や、観光協会との協働に取り組みました（新型コロナのため中止）。</p>						
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・計画値と実績値との差異に関しては、新型コロナウイルス感染防止の影響であり、評価指数の低下はやむを得ない。 						

(3) 施設経費の削減の取組み							
評価要素	①	指定管理料、利用料金等の収支手続について、適切で透明性の高い管理をしているか					
	②	サービスの質を確保した経費削減の取組みを行っているか					
	③	清掃、警備、保守点検など、業務の一部委託等をする場合、複数業者からの見積合わせなど、経費削減等に考慮して適切に行っているか					
	④	施設、備品等の管理について、適切に維持管理し、省エネ、省資源、環境配慮物品の購入など環境への配慮を適切に行っているか					
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値		
	デマンド監視装置の設置			昨年値以下	達成		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	15	I	1.0	15	I	1.0	15
指定管理者コメント	<p>指定管理料、利用料金などについては適正に処理しております。 サービスの質を確保し次の経費節減を実施致しました。 デマンド監視装置の設置 2019年度のデマンド値（契約電力）は253kwでございました。 2020年度のデマンド値（契約電力）は242kwとなり、昨年値を下回り、電気代の削減に貢献いたしました。また本年度は電気事業者の変更に取組み来年度以降の電気代削減を目指しております。保守点検や修繕に際し、可能な部分については相見積を実施しより経費節減に考慮し、運営を行っております。</p>						
施設所管課コメント	<p>・施設経費の削減については、民間企業のノウハウをもって対応し、成果を上げていただいているものとする。</p>						

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み						
評価要素	①	施設の適正管理に必要な職員の配置及び管理運営体制が確保されているか				
	②	職員の望ましい勤務形態及び育成指導、研修等が十分に確保されているか				
	③	職員の福利厚生は充実しているか				
	④	各種税金や社会保険料等は適切に納められているか				
	⑤	団体の財政状況等は健全であるか <別紙参照>				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	入浴施設衛生管理教育の実施			100%	100%	
	感染症対策教育の実施			100%	100%	
	普通救命講習の実施			100%	0%	
	認知症サポーター養成区座の受講			100%	0%	
	雇入時教育の実施			100%	100%	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	I	1.0	20	II	0.8
指定管理者コメント	<p>施設の管理を安定的に行うため、職員を適正配置しております。また、各種職員研修を計画し安心安全な施設運営に努めております。また、各種税金・社会保険料は適正に納付しており、弊社の財政状況は健全です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入浴施設衛生管理教育の実施・感染症対策教育の実施 → 6月の再開にあたり、入浴施設衛生管理教育を実施致しました。また、利用者への感染症対策教育として新たに拭き消毒作業実施のため、ペストコントロール協会の指針に則り作業内容の研修を行いました。 ・普通救命講習・認知症サポーター養成講座について → 施設内でのクラスター防止の為に開催を見合わせ、より安全を重視する対応を行いました（栃木消防本部等による講習は受付停止） ・雇入時教育の実施 → 新規雇用者について、必要な教育・研修の対応と実施致します。 <p>詳細は、別紙3(P6-7)をご参照ください。</p>					
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対応教育については、新型コロナウイルスへの対応研修を実施しており、安全な施設運営に努めている。 ・不特定多数の方が利用する施設であり、問題が生じる確率が高いと思われる。接遇の向上をはじめ、多様な研修を実施して職員の資質を高めていただきたい。 					

(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み						
評価要素	①	① 日常の安全点検及び法定点検等の安全対策を行っているか				
	②	② 緊急時の危機管理体制等が確立されているか				
	③	③ 避難訓練や防災訓練を適切に行っているか				
	④	④ 具体的な個人情報保護対策を行っているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	監視カメラの設置台数			4か所	4か所	
	法定設備点検の実施率			100%	100%	
	安全会議の実施			8回	12回	
	避難訓練の実施			2回	2回	
	防火対象物点検の実施			1回	1回	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	I	1.0	20	II	0.8
指定管理者コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・監視カメラの設置 → 監視カメラを計4台設置し、館内での不慮の対応に備えております。 ・法定設備点検の実施率 → 法定設備点検を計画通り実施致しました。詳細は、別紙3(p8)をご参照下さい。 ・安全会議の実施 → 毎月安全会議を実施し、作業中の事故、季節性の事故の研修を行い勤務中の事故予防に努めております。 ・避難訓練の実施 → 年2回の消防避難訓練を実施しております。 ・防火対象物点検の実施 → 防火対象物点検を年1回実施しております。 <p>上記指標のほか、施設の安全管理を重視した運営を実施しております。また、取得した個人情報は施錠箇所保管するなど、個人情報保護対策を実施しております。</p>					
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の安全対策、緊急時の危機管理体制も適正に実施されているものと思われる。 ・事件事故が起きた状況で、的確に行動がとれる体制の取組みを引き続きお願いしたい。 ・設備が経年により故障が多発している。日頃より点検を実施して故障を未然に防ぐとともに、事故等につながることをないよう対応をお願いしたい。 					

評価結果	配点	第1次評価点 (指定管理者評価)	第2次評価点 (施設所管課評価)	第3次評価点 (選定委員会評価)
(1) 平等利用の確保とサービス向上の取組み	25	20	20	
(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み	20	16	12	
(3) 施設経費の削減の取組み	15	15	15	
(4) 施設の管理を安定して行うための取組み	20	20	16	
(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み	20	20	16	
評価点合計	100	91	79	
総合評価		A	B	

第3次評価（選定委員会評価）	
選定委員会コメント	

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み

《 別紙 》

⑤ 団体の財政状況等は健全であるか

直近3カ年の情報を記入してください。

決算年次	2019年度(令和元年度)	2018年度(平成30年度)	2017年度(平成29年度)
資産総額	2,597,059,000	2,200,210,000	2,045,365,000
売上高	5,623,123,000	4,308,883,000	4,252,900,000
経常利益	355,558,000	243,227,000	246,392,000
当期利益	250,474,000	159,788,000	161,365,000
経常収支比率	106.7%	106.0%	106.1%

※ 経常収支比率について

本指標は、会社の資金繰りの実態を示す指標です。

この数値が100%未満であると銀行借入などをしなければ営業活動ができなくなるといわれているものであり、経常損失が生じていることを意味します。

決算年次	2019年度(令和元年度)	2018年度(平成30年度)	2017年度(平成29年度)
経常費用	5,309,334,000	4,074,695,000	4,019,170,000
経常収益	5,664,893,000	4,317,923,000	4,265,564,000
経常収支比率	106.7%	106.0%	106.1%

○経常収益(営業収益+営業外収益)÷経常費用(営業費用+営業外費用)×100で求めます。

指定管理者コメント

弊社の財政状況は、健全な状況で推移しております。